

# かえる便り 29年度36号

平成30年3月5日

早春の候、皆様にはご健勝にてお過ごしのことと存じます。

天の時は地の利に如かず 地の利は人の和に如かず

“ホンダ”の創業者である本田宗一郎は少し変わった人だったようです。後に彼の右腕となる藤沢武夫は宗一郎に会った際、『おかしな男だ』と思ったそうです。その藤沢に“宗一郎はすごい男だ”と思わせたのは彼の奥さんです。『こんな素晴らしい女性が選んだ男なら間違いなしだ』と確信したそうです。もし、藤沢が奥さんに会っていなかったら今の“ホンダ”ではなかったかも知れないですね？天の時 地の利 人の和 の三つがそろふことはそんなに多くないでしょう。しかし、自分がすべきことを全力で行って行けば、人の協力が得られることが多々あります。そのような努力が 天の時 地の利を呼び込むのではないのでしょうか？



最近、職場で女性にお茶を入れてと言うと 嫌がられることが多いのではないのでしょうか？“雑用”と思われるこのようなことが、人の心を和ませると思うのですがね…。入れてもらった際、『あなたが入れてくれたお茶で元気が出たよ!!ありがとう』と言え、雑用ではなく職場を明るく意欲的にさせる重要な仕事の一部だと思うのですが…？歳なのかな…



保護者の皆様方、先日は大変楽しく和やかな卒部式を開催していただき卒業生も良い思い出を刻むことができました。本当にありがとうございました。